

2007 年度

<p>科目名</p> <p>博物館実習（事前・事後の指導を含む）</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部全学科3回生 教育教福3回生 人間全学科3回生</p>	<p>担当者</p> <p>犬木 努</p>
<p>授業テーマ</p> <p>博物館資料の取り扱い方を学ぶ</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>博物館業務においては、実際にさまざまなモノを取り扱うことが多い。日本の博物館の場合、欧米のように学芸員の専門分化がすすんでいるわけではないので、一人の学芸員が扱うモノの種類は非常に多岐にわたっている。したがって、学芸員は、取り扱うさまざまなモノの材質や構造を熟知していることが必要である。また、博物館に所蔵されているモノを資料化すること（図・写真・拓本をとったりすること）も、学芸員としての基本的責務である。本講義では、できる限り実物に即して、博物館学芸員として身につけるべき基本的技術の習得を目的とする。</p>		
<p>評価方法</p> <p>出席点を重視し、<u>毎時間の提出物によって評価する</u>。提出物の仕上がり具合、課題の達成度合いを重視する。なお、<u>実習の内容についてのレポートを適宜提出してもらう</u>。学年末の筆記試験は行わない。夏休みの集中実習についてもレポートの提出を課す。この講義は後期とセットなので、後期の成績を考慮のうえ採点する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>『博物館実習マニュアル』</p>	<p>著者</p> <p>全博協西日本部会編</p>	<p>出版社</p> <p>芙蓉書房出版</p>
<p>参考書</p> <p>『概説博物館学』</p>	<p>著者</p> <p>全博協西日本部会編</p>	<p>出版社</p> <p>芙蓉書房出版</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>前期の講義を担当する。授業時数は約13回程度。 主として以下のような内容の授業を行う予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①拓本を採る：乾拓作業の基本を学ぶ。</li> <li>②拓本を採る：湿拓作業の基本を学ぶ。</li> <li>③資料の実測を行う：実測図の作成方法を学ぶ</li> <li>④写真を撮る：撮影・焼付・引伸の基本を学ぶ</li> <li>⑤パネルの作成。</li> <li>⑥展示品の取り扱い。</li> </ul> <p>※各々の項目を数回にわたって行う場合もある。また順番・内容については変更する場合がある。 ※授業スケジュール・内容は、他の「博物館実習」とほぼ同じである。</p> <p>なお、夏休みには集中実習を行う。 ①古文書調査、②発掘調査、③愛知県博物館見学旅行、④パリ美術館見学旅行、⑤ミュージアム・カレッジ・イン水沢（岩手県水沢市）のうち、少なくとも一つに参加してもらう。ただし、集中実習の具体的内容については、年度冒頭に説明を行う。なお、集中実習の内容については、変更の場合がある。第1回目の授業時に説明するので、かならず出席のこと。</p>		